

異才を放つ孤高のチェリスト、
リップキンの深化を見届けよ!

カサド：無伴奏チェロのための組曲

Cassadó: Suite for Solo Cello

J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲 第3番 八長調 BWV1009

J.S.Bach: Cello Suite No.3 in C major, BWV 1009

J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲 第6番 二長調 BWV1012

J.S.Bach: Cello Suite No.6 in D major, BWV 1012

リゲティ：無伴奏チェロ・ソナタ

Ligeti: Sonata for Solo Cello

ガブリエル・リップキン

無伴奏チェロ・リサイタル

Gavriel Lipkind

Solo Cello Recital

十代半ばという若さでメータ指揮イスラエル・フィルと共演し、神童と謳われ着実にキャリアを積み重ねたリップキンは、23歳の時に自身の芸術的精神を見つめ直し、いっそう深めるための山籠もりを3年間行ったという異色の経歴の持ち主。その後も独自の音楽活動を多面的に展開し、聴衆を驚嘆させてきた。

そのこだわり抜いた切れ味鋭い音楽作りと、重厚感のある芳醇なチェロの響きと共に、大きなスケールで描かれる珠玉の無伴奏チェロ作品たち。成熟したリップキンが駆け抜ける圧巻のステージとなるだろう。

2019

3.28 [木]
18:30 開場 / 19:00 開演
トッパンホール

[入場料(税込)] 10/17(水)一般発売

全席指定 ¥5,000 / 学生 ¥3,000

※学生券はパシフィック・コンサート・マネジメントのみのお取扱いです。

主催：パシフィック・コンサート・マネジメント

後援：イスラエル大使館 / 一般財団法人 日本チェロ協会

[お問い合わせ・お申込み]

PCM パシフィック・コンサート・マネジメント

03-3552-3831 <http://www.pacific-concert.co.jp/>

[プレイガイド]

トッパンホール・チケットセンター <http://www.toppanhall.com/> 03-5840-2222 (土日祝休)

イープラス <http://eplus.jp/>

チケットぴあ <http://pia.jp/> 0570-02-9999 (Pコード: 127-565)

ローソンチケット <http://l-tike.com/> 0570-000-407 (Lコード: 35284)

※やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

※就学前のお子様のご入場・ご同伴はご遠慮ください。



Gavriel Lipkind

Solo Cello Recital

ガブリエル・リップキン(チェロ) Gavriel Lipkind, Cello

1977年、イスラエルでロシア移民の両親のもと生まれる。6歳でチェロを始め、テル・アヴィヴ大学のルービン音楽アカデミーでウズィ・ヴィーセルに師事した後、フランクフルト音楽大学、カールスルーエ音楽大学、ボストン・ニューイングランド音楽院で学ぶ。1994年ロストロポーヴィチ国際チェロ・コンクール「最も将来性のある若手奏者」賞、1997年レナード・ローズ国際チェロ・コンクール第2位(1位なし)、1998年ミュンヘン国際音楽コンクール入賞。

15歳でズーピン・メータ指揮イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団と共演し、その後もミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、ボルティモア交響楽団等のオーケストラと、フィリップ・アントルモン、ジュゼッペ・シノーポリ等の指揮者や、ユーディ・メニューイン、ピンカス・ズッカーマン、ユージ・バシュメット、ギドン・クレーメル等の演奏家と共演を重ねている。

幼少期より輝かしいキャリアを築いてきたが、23歳の時にタウヌス山地の村に居を移し、自身の芸術的精神を深めるため3年間の演奏活動休止期間に入った。その成果を結実させたのが2006年にリップキン・プロダクションからリリースした対照的な2枚のアルバムで、自身のアレンジによる小曲集「ミニアチュール&フォークロア」と、〈シングル・ヴォイス・ポリフォニー〉シリーズ第1弾の「J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲集」である。その後も自身による独奏パートの校訂譜を併せた〈チェロ・ヒロイクス〉と題したシリーズで、「シューマン:チェロ協奏曲」(ミシャ・カツツ指揮シンフォニア・ヴァルソヴィア)、「ショスタコーヴィチ:チェロ協奏曲第1番」(ヴォイツェフ・ロデク指揮シンフォニア・ヴァルソヴィア)、「サン=サーンス:チェロ協奏曲第1番」(アントニー・ヘルムス指揮シンフォニア・ヴァルソヴィア)、「ドホナーニ:チェロと管弦楽のためのコンツェルトシュテュック」(イヴァン・メイレマンス指揮アーネム・フィルハーモニー管弦楽団)をリリースし、いずれも高い評価を獲得している。

因習を打ち破るチェリストと称され、その表現豊かな音楽性は、世界中の聴衆、音楽家、作曲家から注目を集めている。近年は、ヴァレリー・ゲルギエフ指揮マリンスキー歌劇場管弦楽団、アントニ・ヴィトおよびミシェル・タバシュニク指揮ブリュッセル・フィルハーモニー管弦楽団と共演した。日本ではこれまでに、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー管弦楽団、京都市交響楽団、群馬交響楽団と共演している。ピアニストのロマン・ザスラフスキーとは長年共演を続けており、2008年からはリップキン・カルテットとしての活動も行っている。

使用楽器は、1702年にポロニヤで製作されたアロイシウス・ミケーレ・ガラーニだが、1670~80年代に完成されたティールホンハイマーと推測されている。



交通のご案内

江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分
飯田橋駅 JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分
後楽園駅 地下鉄丸ノ内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分
都営バス [上69][飯64]「大曲」または「東五軒町」下車徒歩約3分
※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)

トッパンホール

〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3 TEL: 03-5840-2200 FAX: 03-5840-1515
E-mail: info@toppanhall.com <http://www.toppanhall.com/>

